

# これからの市民科について（第1次案）

## ～市民科の在り方検討・区立学校教育要領策定、教科書作成 など～

令和7年7月1日  
文教委員会資料  
教育総合支援センター

### 1 市民科の経緯

子どもたちの課題（規範意識や社会マナー、公共心の低下、将来に夢をもてない等）を受け、社会の一員として役割を遂行できる資質・能力の育成、個を確立し社会的に有意な存在として生きていける「市民性」を育成していくため平成18年度より市民科を創設した。

- ・道徳、特別活動、総合的な学習の時間を統合・再構築（教育課程特例）
- ・義務教育9年間を通じた系統的な指導で、市民（社会の形成者）としての資質と能力を育むことを目的
- ・「自己管理」「人間関係形成」「自治的活動」「文化創造」「将来設計」の5領域、独自の教科書を活用
- ・経済体験学習、経営体験学習として、スチューデント・シティ、CAPS（キャップス）、ファイナンス・パークを実施

### 3 市民科検討委員会の役割

これからの時代にあった市民科の在り方を検討・策定する。

#### I期 調査分析

- ・児童・生徒、教員への調査実施、分析を行い、これまでの市民科の実施状況を振り返る。

#### II期 要領改訂

- ・市民科における資質と能力の在り方を検討する。
- ・探究的な学習の在り方、体験学習の取り扱い、一貫プランの取り扱いなど要領内容を検討する。
- ・学習指導要領の動向を注視しながら、標準授業時数と各内容の取り扱いを検討する。

#### III期 教科書作成

- ・全校に位置付ける内容、学校で選択して実施する内容、探究的な学習など現行のカリキュラム内容を精選し、教科書を作成する。

#### 【検討委員会メンバー】

- 有識者（文部科学省職員、大学教授等）、地域関係者、企業関係者、保護者、校長会代表 等

### 5 スケジュール（案）

年度	7年度				8年度		9年度		10年度	
月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	前期	後期	前期	後期		
ステージ	I期 【調査分析】				II期 【要領改訂】					
	III期 【教科書作成】									
市民科検討委員会	第1回	第2回	第3回	第4回	4回程度		4回程度			
調査研究会	調査案	→		要領案	→		→		教科書案	
実施状況調査 区立学校教育要領 市民科教科書 国の動向など		要領案検討	調査実施・分析	調査結果 第一次案	要領改善	第二次案	要領案パブコメ 改訂作業	要領改訂	完成	
市民科推進教員研修	各校の探究的な学習（一貫プラン）の内容を共有、今後に向けて				継続（研修・協議内容は検討）					
固有教員	固有教員研修内を含め作業部会として案出しを行う				継続					
研究指定校	伊藤学園・豊葉の杜学園（区研究指定校・探究的な学習）				新規含め継続					
探究的な学習	一貫プランの中で、中学校区の学校が連携して探究的な学習を推進				前年度方向性確認→各校実施					

### 2 現行市民科の状況

#### 【現行市民科の視点】

- ・急速に進展する少子高齢化やグローバル化していく社会の中で生き方を確立
- ・新学習指導要領において教科化された「特別の教科 道徳」への対応  
⇒市民科における資質と能力の育成を目標として捉え直し、主体的な学習活動を一層重視  
これまで重視してきたことを大切にしながら、現代社会における課題に対応

#### 【キーワード】

- ・5つの領域、育成する7つの資質と15の能力
  - ・5つのステップ
  - ・一貫プラン
- 別紙「市民科の実施について」より抜粋

### 4 市民科調査研究会

#### ○探究的な学習等

- ・各学校での取組を共有し、一貫プランにおける探究的な学習の在り方について協議を行う。
- ・教師の指導性、児童・生徒の主体性の側面からも授業の在り方を振り返る。
- ・各校の好事例や随時反映できる内容について研修会等の場で発表・共有する。
- ・今後の探究的な学習の在り方（教科探究、一貫プラン、学校・個人など）について協議を行う。

#### ○実施状況調査

- ・児童・生徒への調査対象・内容を検討する。
- ・教師への調査対象・内容を検討する。

#### ○固有教員との連携

- ・固有教員研修等の機会をとらえ、情報・意見収集を行う。

#### 【調査研究会】

- 教育会市民科部会部長、統括副校長を中心に区内教員（固有教員含）で編成、上記内容を検討する。
- 固有教員研修の活用を含め、適宜作業部会を開催する。